



2021年11月11日

各 位

会社名 イー・ガーディアン株式会社
代表者名 代表取締役社長 高谷 康久
(コード：6050 東証第一部)
問合せ先 専務取締役 溝辺 裕
(TEL. 03-6205-8859)

(訂正) 「2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2020年5月11日に開示いたしました「2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2021年11月11日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)

2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月11日

上場会社名 イー・ガーディアン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6050 URL <https://www.e-guardian.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高谷 康久
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 溝辺 裕 TEL 03-6205-8859
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績(2019年10月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	3,678	14.4	571	△0.8	586	△2.3	381	△3.1
2019年9月期第2四半期	3,216	9.9	576	10.6	600	12.5	394	8.2

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 334百万円(△15.8%) 2019年9月期第2四半期 396百万円(10.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	37.70	—
2019年9月期第2四半期	38.60	38.59

(注) 「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	4,925	3,704	75.2
2019年9月期	4,573	3,463	74.6

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 3,704百万円 2019年9月期 3,410百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	0.00	9.00	9.00
2020年9月期	—	0.00			
2020年9月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無
2020年9月期の1株当たりの配当金につきましては、現在未定です。

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日~2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	13.2	1,201	2.9	1,221	1.6	850	1.2	84.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無
「1株当たり当期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
除外1社（社名）株式会社アイティエス

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期2Q	10,405,800株	2019年9月期	10,405,800株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	278,321株	2019年9月期	278,299株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期2Q	10,127,485株	2019年9月期2Q	10,207,413株

（注1）期末自己株式数には役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めて記載しております。また、期中平均株式数の算定に当たり、その計算において控除する自己株式に、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が続く緩やかに回復しておりましたが、年明け以降、新型コロナウイルスの感染拡大により景気は下押し圧力の強い状態となり、先行きは非常に不透明な状況となっております。

国内のインターネット関連市場におきましては、フィンテック (※1) 及びC to Cサービス (※2) の拡大、並びに海外ゲーム関連企業の日本進出等、引き続き市場成長が継続しており、今後もインターネットにおける技術革新はますます進み、様々なサービスが展開されていくものと予想されます。

その一方で、個人情報漏洩事件や特定の組織を狙う標的型攻撃に加え、IoT (※3) によりあらゆるものがリスクにさらされる等、インターネットに関するセキュリティ侵害は年々深刻化しており、全てのインターネットユーザーが安心してインターネットを利用できるよう、安全性を求める声は一層高まりを見せております。投稿監視やカスタマーサポート (以下、「CS」という) のニーズに加え、Webアプリケーションにおけるセキュリティへの関心もますます増加しております。

用語説明

- (※1) IT技術を活用した金融サービスを指し、ファイナンス (Finance) とテクノロジー (Technology) を組み合わせた造語。SNSによる送金、及び電子マネー履歴を活用した家計簿の自動作成等サービス等多岐にわたる。
- (※2) Consumer to Consumerの略称。消費者間での電子商取引であり、例としてフリーマーケットサイトやオークションサイトにおける取引がある。
- (※3) Internet of Things (モノのインターネット) の略称。建物、車、及び電子機器等の様々なモノをネットワークによりサーバーやクラウドサービスへ接続し、相互に情報交換する仕組み。

このような環境のもと、当社グループは品質と効率化を高水準で満たしたセキュリティサービスをワンストップで提供する総合ネットセキュリティ企業として、事業拡大及び収益性向上を追求してまいりました。

また、2019年8月に株式会社グレスアベイルを子会社化し、クラウド型のファイアウォールやセキュリティ診断ツール (以下、クラウド型セキュリティ製品という) を自社開発する体制を整えております。

投稿監視及びカスタマーサポート、デバッグ、並びにサイバーセキュリティの3つの軸を確立し、総合ネットセキュリティ企業として、経営理念である「We Guard All」の実現に向けた事業拡大を図り、企業価値向上を目指してまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,678,971千円 (前年同期比14.4%増)、営業利益は571,465千円 (前年同期比0.8%減)、経常利益は586,863千円 (前年同期比2.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は381,757千円 (前年同期比3.1%減) となりました。

当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はありません。業務の種類別の業績は以下の通りであります。

① ソーシャルサポート

成長を続けるソーシャルWebサービス（※4）において、監視・CSだけではなく、運用や分析といった多種多様な新サービスの展開や既存顧客への深耕営業に注力いたしました。加えて、蓄積したノウハウを横展開することで、キャッシュレス決済、シェアリング、エデュテック（※5）等の成長市場において売上を拡大いたしました。

その結果、売上高は1,472,876千円（前年同期比28.8%増）となりました。

用語説明

（※4）SNSやブログ等のソーシャルメディアや、ソーシャルゲーム、Eコマース等の、個人同士双方向のコミュニケーションが介在する全てのインターネットメディア。

（※5）教科書のデジタル化や、オンライン授業等の教育分野にテクノロジーを導入したサービス。

② ゲームサポート

豊富な運用実績とノウハウの蓄積により既存顧客との関係の強化を目指すと同時に、デバッグを提供するEGテストサービス株式会社と連携したサービスの提供、日本市場に参入する中国系及び韓国系を中心とした海外ゲーム企業の多言語カスタマーサポートの受注に注力いたしました。また、クラウドゲームの盛り上がりを背景に、10年以上蓄積した運用ノウハウを活用し、リアルタイムかつ快適な環境の運用に貢献するクラウドゲームトータルサポートの提供を開始いたしました。

その結果、売上高は1,266,785千円（前年同期比1.6%減）となりました。

③ アド・プロセス

既存の広告審査業務だけでなく、広告枠管理から入稿管理、広告ライティング等の提供サービスの拡大に注力するとともに、派遣・常駐型業務と当社センター業務を組み合わせた運用に加え、自社開発したRPA（※6）の活用により競合他社との差別化を図り、既存顧客への深耕営業を目指してまいりました。また、インターネット広告市場の拡大に伴う人手不足を背景に、広告人材育成プロジェクトを推進いたしました。

その結果、売上高は472,025千円（前年同期比10.7%増）となりました。

用語説明

（※6）Robotic Process Automation（ロボティック・プロセス・オートメーション）の略称。機械学習及び人工知能等を活用した業務の効率化・自動化の取り組み。

④ その他

サイバーセキュリティ分野におきましては、株式会社グレスアペイルが国内初のコンテナ型WEBセキュリティファイアウォールである「GUARD IAX」を開発いたしました。「GUARD IAX」はAIによる自動解析制御や高度ログ分析等の高度な機能をもち、サイバー攻撃被害の最小化に貢献いたします。

また、電子デバイス等のハードウェアに対するデバッグ事業におきましては、EGテストサービス株式会社が、ソフトウェアのデバッグ事業とシナジーを発揮し、既存顧客への深耕営業や新規開拓を図り、シェア拡大を目指してまいりました。

その結果、売上高は467,283千円（前年同期比30.1%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、3,755,295千円となり、前連結会計年度末における流動資産3,493,913千円に対し、261,382千円の増加（前連結会計年度末比7.5%増）となりました。

これは主に、現金及び預金が118,740千円増加し、加えて売掛金が123,743千円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、1,169,797千円となり、前連結会計年度末における固定資産1,079,426千円に対し、90,370千円の増加（前連結会計年度末比8.4%増）となりました。

これは主に新拠点設立に伴い有形固定資産が83,037千円増加したこと等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、4,925,093千円（前連結会計年度末比7.7%増）となりました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、1,220,321千円となり、前連結会計年度末における負債1,110,321千円に対し、110,000千円の増加（前連結会計年度末比9.9%増）となりました。

これは主に、未払金が131,951千円増加し、長期借入金が54,935千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、3,704,771千円となり、前連結会計年度末における純資産3,463,018千円に対し、241,753千円の増加（前連結会計年度末比7.0%増）となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益381,757千円を計上した一方、剰余金の配当92,595千円を実施したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は2,838,334千円となり、前連結会計年度末における資金2,719,594千円に対し、118,740千円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は404,242千円（前年同四半期は436,311千円の収入）となりました。

これは主に、法人税等の支払額218,879千円があったものの、税金等調整前四半期純利益の計上639,732千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出された資金は115,548千円（前年同四半期は75,014千円の支出）となりました。

これは主に、差入保証金の差入による支出92,299千円、有形固定資産の取得による支出74,262千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出された資金は173,507千円（前年同四半期は73,812千円の支出）となりました。

これは主に、配当金の支払額92,918千円、長期借入金の返済による支出60,935千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当年度の業績予想は、2019年11月5日公表時点から変更なく、現時点で業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,719,594	2,838,334
売掛金	705,083	828,826
仕掛品	4,746	2,823
その他	102,376	137,818
貸倒引当金	<u>△37,887</u>	<u>△52,507</u>
流動資産合計	<u>3,493,913</u>	<u>3,755,295</u>
固定資産		
有形固定資産	462,300	545,337
無形固定資産		
のれん	200,840	176,500
ソフトウェア	38,120	44,345
ソフトウェア仮勘定	11,185	—
その他	311	311
無形固定資産合計	<u>250,457</u>	<u>221,157</u>
投資その他の資産	366,669	403,302
固定資産合計	<u>1,079,426</u>	<u>1,169,797</u>
資産合計	<u>4,573,339</u>	<u>4,925,093</u>
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,568	6,396
短期借入金	6,000	—
1年内返済予定の長期借入金	16,068	—
未払金	435,809	567,761
未払費用	15,160	17,875
未払法人税等	211,577	209,315
未払消費税等	116,037	142,370
賞与引当金	99,508	113,659
その他	42,591	39,540
流動負債合計	<u>951,321</u>	<u>1,096,919</u>
固定負債		
長期借入金	54,935	—
役員株式給付引当金	69,170	81,234
長期預り保証金	26,519	24,296
その他	8,374	17,871
固定負債合計	<u>159,000</u>	<u>123,402</u>
負債合計	<u>1,110,321</u>	<u>1,220,321</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	364,280	364,280
資本剰余金	376,512	376,512
利益剰余金	3,021,179	3,310,342
自己株式	<u>△343,305</u>	<u>△343,353</u>
株主資本合計	<u>3,418,667</u>	<u>3,707,782</u>
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△8,409	△3,010
その他の包括利益累計額合計	<u>△8,409</u>	<u>△3,010</u>
非支配株主持分	52,760	—
純資産合計	<u>3,463,018</u>	<u>3,704,771</u>
負債純資産合計	<u>4,573,339</u>	<u>4,925,093</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	3,216,617	3,678,971
売上原価	2,088,430	2,440,807
売上総利益	1,128,186	1,238,163
販売費及び一般管理費	552,114	666,698
営業利益	576,072	571,465
営業外収益		
補助金収入	25,040	18,914
その他	918	2,876
営業外収益合計	25,958	21,790
営業外費用		
支払利息	381	1,174
為替差損	903	4,079
その他	42	1,138
営業外費用合計	1,327	6,392
経常利益	600,702	586,863
特別利益		
移転補償金	—	4,463
特別利益合計	—	4,463
特別損失		
固定資産除却損	1,575	11,593
事務所移転費用	5,218	—
貸倒引当金繰入額	—	14,726
特別損失合計	6,794	26,320
税金等調整前四半期純利益	593,908	565,005
法人税、住民税及び事業税	195,538	219,370
法人税等調整額	4,354	16,638
法人税等合計	199,892	236,009
四半期純利益	394,015	328,996
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	—	△52,760
親会社株主に帰属する四半期純利益	394,015	381,757

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	394,015	<u>328,996</u>
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,956	5,399
その他の包括利益合計	<u>2,956</u>	<u>5,399</u>
四半期包括利益	<u>396,971</u>	<u>334,395</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	396,971	<u>387,156</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	—	<u>△52,760</u>

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	593,908	565,005
減価償却費	35,081	39,340
のれん償却額	5,480	24,340
受取利息及び受取配当金	△19	△144
支払利息	381	1,174
固定資産除却損	1,575	11,593
売上債権の増減額 (△は増加)	△68,008	△122,846
たな卸資産の増減額 (△は増加)	693	1,946
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,937	△2,172
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	14,697
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,894	14,047
未払金の増減額 (△は減少)	57,131	79,417
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△15,584	26,926
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	1,694	12,063
その他	395	△41,207
小計	612,688	624,183
利息及び配当金の受取額	19	111
利息の支払額	△381	△1,172
法人税等の支払額	△176,014	△218,879
営業活動によるキャッシュ・フロー	436,311	404,242
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△67,602	△74,262
無形固定資産の取得による支出	△7,365	△5,649
投資有価証券の売却による収入	—	30,696
長期貸付金の回収による収入	—	21,179
差入保証金の差入による支出	△46	△92,299
差入保証金の回収による収入	—	4,767
その他	—	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,014	△115,548
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1,826	△3,537
短期借入金の返済による支出	—	△16,068
長期借入金の返済による支出	—	△60,935
配当金の支払額	△82,264	△92,918
自己株式の処分による収入	97,585	—
自己株式の取得による支出	△87,306	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△73,812	△173,507
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,617	3,552
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	289,101	118,740
現金及び現金同等物の期首残高	2,318,386	2,719,594
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,607,488	2,838,334

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。